

海洋ガバンスコース

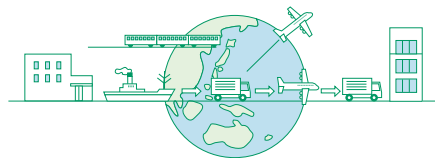
国際物流・サプライチェーンの効果的運用と高度化、およびこれに係る地球環境保全への貢献を目的として、輸送体系を支えるリソースや制度の整備・改善ならびに戦略的かつ総合的な視点から最適な物流・ロジスティクスシステム構築の計画設計、運用管理および政策などに関する専門的な知識および学力を身につける。

本コースの教育研究分野

- ・ロジスティクス政策科学

本コースの授業科目（英文表記は英語による授業科目）

- ・ Transport Engineering for Network Analysis (交通計画とネットワーク)
- ・ Logistics Management (ロジスティクスマネジメント)
- ・ Project Evaluation (プロジェクト評価論)
- ・ Logistics and Environment (ロジスティクスと環境)
- ・ 交通産業の経済学
- ・ ネットワーク産業論
- ・ 交通システム計画論
- ・ Data Science for Transport (交通データサイエンス)
- ・ マネジメントシステム論
- ・ 海洋資源・エネルギー制度論
- ・ 地域環境科学論
- ・ 海洋環境気候学
- ・ 海洋探査技術
- ・ 海洋底物質科学
- ・ 海洋底物理学
- ・ 海洋資源法学



在学生からのメッセージ



高嶋 晃琉

グローバル輸送科学コース



日本

1. 海事科学研究科を選んだ理由は？

私は海上コンテナ輸送に強い関心を持っており、この分野に関連する研究を深めたいと考え、海事科学研究科を選びました。研究室を選ぶ際には、自分の興味や研究テーマに最も合致する分野を提供している研究室を見つけ、その環境で学ぶことを決めました。

2. 入学後の大学院の印象は？

学生数が少なく、授業では教員との距離が非常に近いです。研究室においても学生同士のみならず、留学生や教員とも関わりがあり、和やかな研究環境です。研究テーマについて、計画性をもって向き合うことができます。

3. あなたの研究内容について簡単に教えてください。

私の研究は、コンテナターミナルゲート前に仮置きデポを設置することで、トラックの待ち時間問題を解決することを目指しています。コンテナ輸送量が増加する中で、港湾での荷役作業や内陸との輸送が増加し、その結果、ゲート前でトラックの待ち行列が発生しています。この待ち時間は、トラックの生産性低下、ドライバーの労働環境の悪化、そして環境汚染を引き起こします。これらの問題を緩和する一つの解決策として仮置きデポの運用を検討します。

4. 大学院進学の魅力について教えてください。

大学院では学部時代には経験できない長期的かつ深い研究を行うことができます。自分の興味に基づいたテーマで、しっかりと目標を持ちながら取り組むことができる点が、大学院進学最大の魅力です。

5. 卒業後のあなたの進路について教えてください。

現在修士1年生で、具体的な進路はまだ決まっていますが、海事・ロジスティクス・交通分野の課題に対して理解を深め、これらの問題を解決するための仕事に携わりたいと考えています。

6. 海事科学研究科の魅力は何ですか？

海事、ロジスティクス、交通分野を多角的に学び、それぞれの分野における専門知識を深められることが魅力です。理論をしっかりと理解し、幅広い視点を養うことで、将来的に現場で応用可能なスキルが培われる点も大きな強みだと感じています。分野横断的な視野を広げることができる環境が、特に魅力的です。

7. 海事科学研究科を目指す高校生、大学生へのメッセージ

海事科学は、物流やエネルギー輸送、環境保全など、私たちの生活を支えるさまざまな分野に深く関わる非常に重要な学問です。しかし、大学院レベルでこの分野を専門に研究している機関は少なく、また一般的な学生にはあまり知られていない地味な分野でもあります。この希少性ゆえに、海事科学の専門知識を持った人材は非常に求められており、社会的にも大きな価値を持っていると思います。海事科学研究科を目指す皆さんには、ぜひ他大学の研究室のテーマや環境を比較し、自分の興味や将来の目標に合った研究室を見つけてほしいと思います。

2024年10月現在